

「万人のための教育世界 宣言(EFA宣言)」からみた “Numeracy”

独立行政法人 国際協力機構 国際協力専門員
村田敏雄

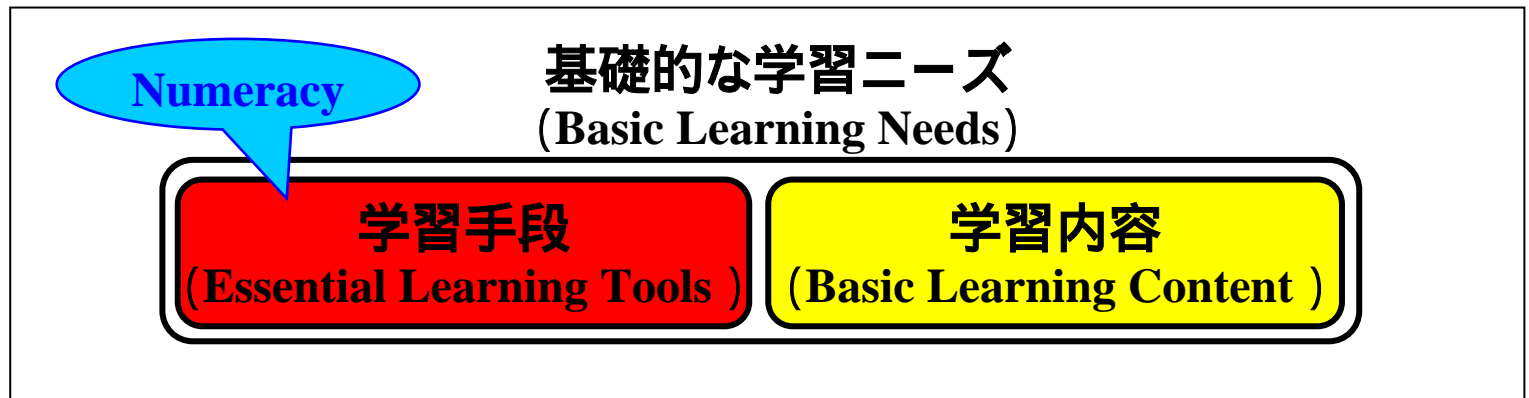
発表内容

- **EFAと国際的な教育開発の目標**
- **Literacy, Numeracy & Life Skills**
- **世界の教育開発の現状**
- **教育の質と教員の質(資質)**
- **EFAにおける“Numeracy”**

「EFA宣言」とは？

- 1990年「万人のための教育世界会議」で採択
- “**EFA (Education for All)**”を国際的な開発目標へ
- より包括的で柔軟な基礎教育のあり方を提唱

世界の教育開発に大きく影響



国際的な教育開発の目標

- 2000年「世界教育フォーラム」で10年間を総括、国際社会はEFA達成への努力の継続を確認

「ダカール行動の枠組み」

- 就学前教育の拡大と改善
- 2015年までに初等教育の完全就学と修了の達成
- 青年と成人の学習ニーズの充足
- 2015年までに識字水準の50%の改善
- 2005年までに初中等教育の男女格差の解消と
2015年までに教育における男女平等の達成
- Literacy、Numeracy、Life Skillsに関する質の改善

Literacy, Numeracy & Life Skills

広義のLiteracy

(識字能力)

狭義のLiteracy

(「読み・書き」能力)

Numeracy

(「計算」能力)

Life Skills

(生活技能)

ノンフォーマル教育:	Literacy	読み書き	Numeracy	計算
フォーマル教育:	Literacy	国語	Numeracy	算数・数学

世界の教育開発の現状

初等教育就学率: 84.0% ('01) 未就学児: 1億3千5百万人

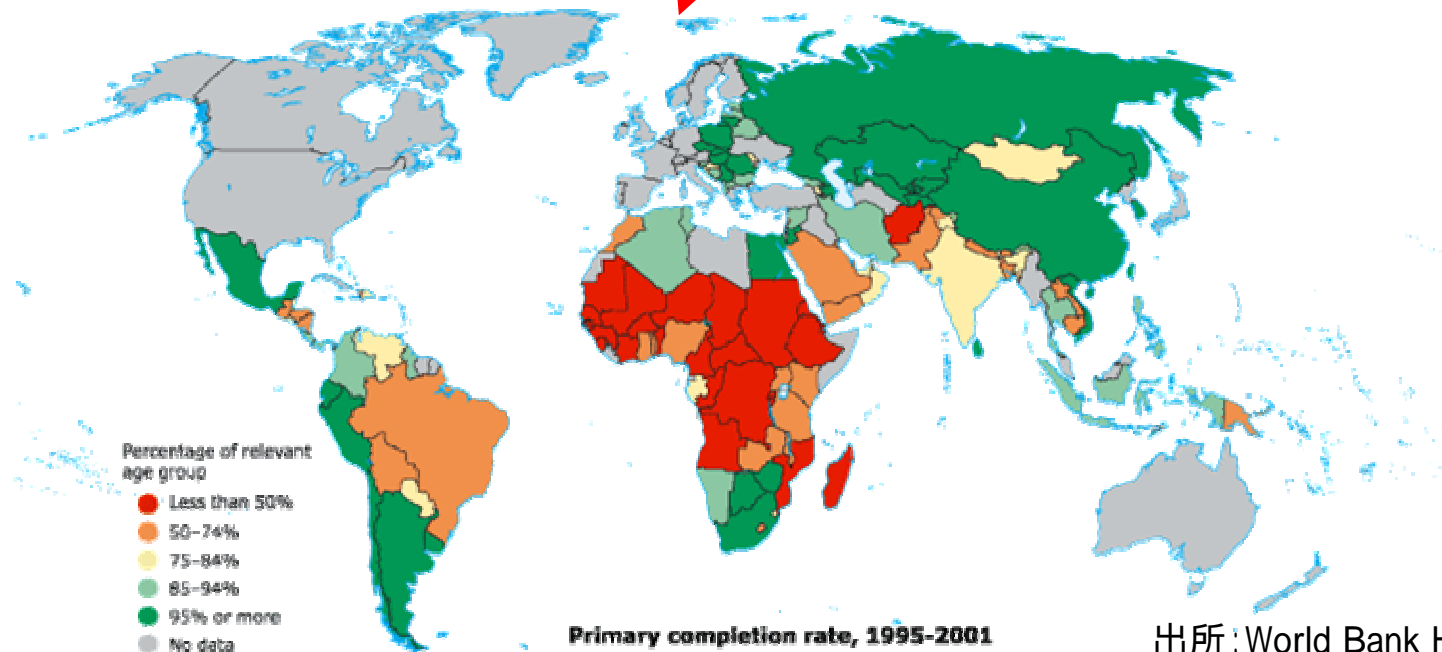
〃 中退率: 22.4% ('00)

〃 修了率: 81.8% ('01/02)

成人識字率: 81.7% ('01)

非識字者: 7億9千9百万人

出所: EFA Global Monitoring Report 2005, UNESCO, 2004およびUNESCO Institute for Statistics HP



出所: World Bank HP

子どもが修了できない理由

- 経済的要因

教育費の負担困難、児童労働・季節労働の存在など

- 社会文化的要因

差別の存在、不定住(移住・遊牧)、早婚の慣習など

- 物理的(地理・環境)要因

僻地・島嶼部での居住、自然災害、紛争など

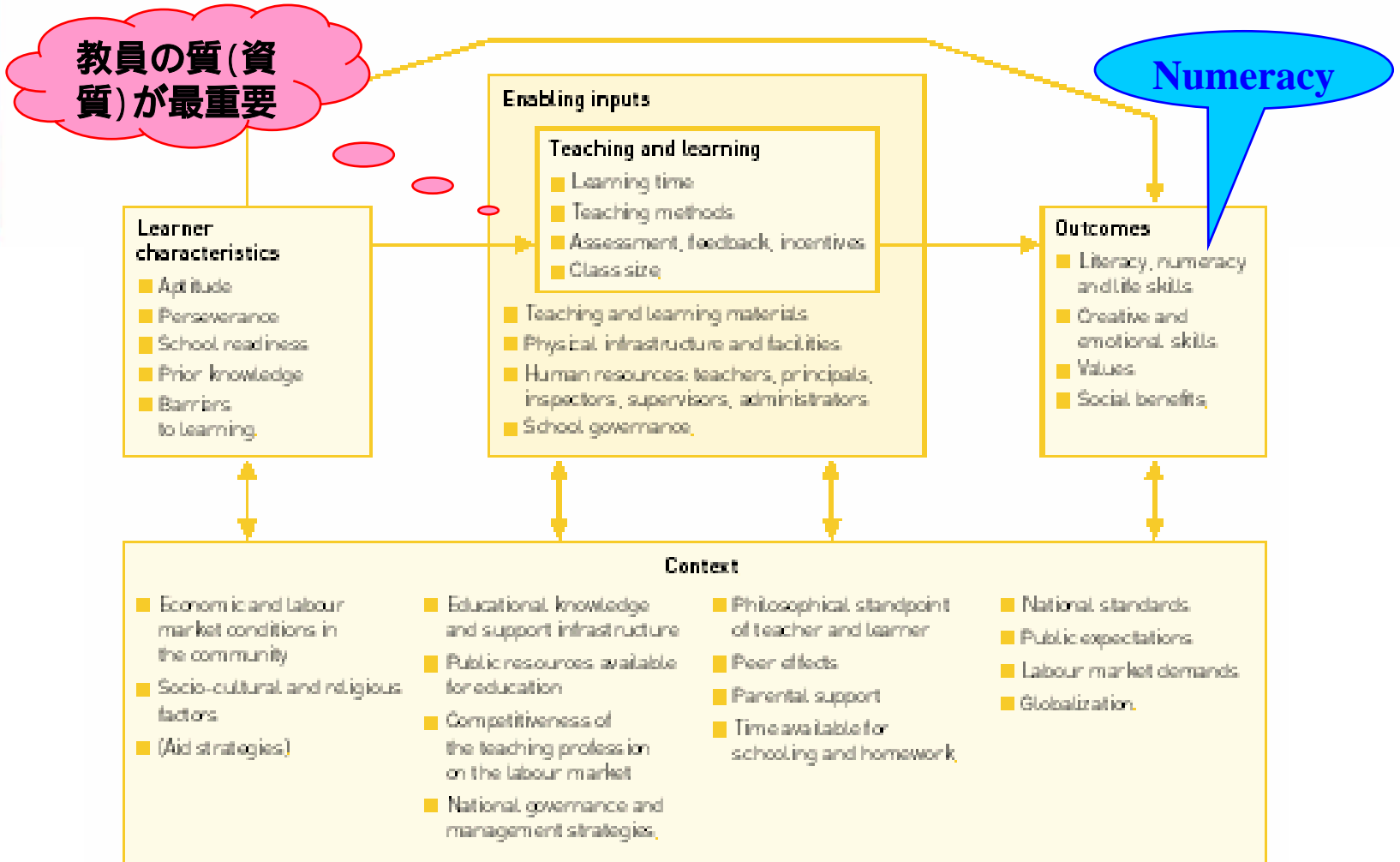
- 教育的要因

主に「国語」と「算数」が問題

学習環境の未整備、**教育の質の低さ** 成績不振など

教育の質とは？

Figure 1.1: A framework for understanding education quality (教育の質を理解するための枠組み)



教員の質(資質)の向上にむけて

- 教員資格の見直し
- 教師教育の充実
- 経験・情報の共有と蓄積
- 知識・技能の獲得と向上

← 教育協力

ちなみに、JICAで実施中の基礎教育プロジェクトにおいて

- 教員の質(資質)の向上に焦点 14 / 16件
- 理数科教育に焦点 10 / 16件

EFAにおける“Numeracy” 1

- 一般にノンフォーマル教育(学校外教育)の文脈で語られる。
- 広義のLiteracyに内包される場合が多い。
(特に量的側面の文脈において)
- 計算能力との解釈(翻訳)が一般的で、その重要性は認識されているものの、定義は不明確。
- Numeracyの測定・判定の方法は整備されていない。

EFAにおける“Numeracy” 2

- Numeracyの獲得が生活の向上や社会の発展にどう寄与するかという展望が開けていない。
- 特定集団に固有のNumeracyがある場合の対応について、ほとんど議論されていない。

幅広く議論し、**正確な理解と認識**を得る必要あり